

学校と教育委員会が連携した体力向上の取組

福岡県古賀市教育委員会

Plan…取組時の課題と目的

1 取組時の課題

平成 24 年度の福岡県体力・運動能力調査において、小・中学校の全学年が全国平均を下回る結果であった。特に、小・中学校共通して、上体起こし、反復横跳び、幅跳びの項目に課題があった。また、小学校に比べて中学校の方が、全国の結果との差が大きかったことも課題であった。

2 取組の目的

- ① 新体力テストの結果から、課題を明確に捉え、焦点を絞った小・中学校共通の取組を行うことにより、小中学校の体力・運動能力の向上を図る。
- ② 生涯学習推進課の小学生対象の運動に係る事業を小学校の実態に合った内容で実施し、参加人数の増加と小学生の体力・運動能力の向上を目指す。

Do…取組の内容

1 体力向上推進会議と小中共通の取組の実施

平成 23 年度より、教育委員会主催で体力向上推進会議を年間二回開催している。各小・中学校の体育主任を委員とし、事務局を生涯学習推進課、学校教育課においている。第 1 回の会議では、各校の体力向上プランをもとに、児童生徒の実態に合ったさまざまな校内の取組を共有している。第 2 回の会議では、体力・運動能力調査の結果を分析し、各校の取組の成果と課題を共有している。また、古賀市全体の課題をとらえ、小・中学校共通の取組を決めている。下は会議で決定した平成 30 年度に取り組む内容である。

【平成 30 年度小・中学校共通の取組】

- 1 立腰の徹底・継続
- 2 小学校：年 2 回の〇〇大会の実施
中学校：年 1 回のクラスマッチの実施
- 3 体育授業における、課題に応じた継続的・系統的・発展的なウォーミングアップや振り返り活動の工夫
- 4 体力テストの 2 回目を設定し、課題解決に向けた手立ての工夫と意欲付け

上の内容を全学校で共通に取り組むが、〇〇大会やクラスマッチ、ウォーミングアップの内容や 2 回目の体力テストの項目等は各校が体力・運動能力の実態に合わせて独自で工夫して行っている。(例：課題を取り入れた〇〇っ子体操、投能力を上げるドッジボールラリー、跳躍力を上げる大なわクラスマッチ等)

2 生涯学習推進課「元気アップチャレンジ」との連携

平成 24 年度から生涯学習推進課が「元気アップチャレンジ」という事業を行っている。毎月第 2、第 4 土曜日に校区の小学生を募り、体育協会、スポーツ推進委員と

連携し、体育館で遊びを通した効果的な運動を行っている。各校区で行う運動については、学校教育課と生涯学習推進課で連携し、前年度の児童生徒の体力・運動能力調査の課題をもとに、工夫した内容にしている。参加者が 1,000 人を超える年もあり、児童が遊びを通して楽しみながら課題に応じた運動を行っている。

【「元気アップチャレンジ」参加児童数 (のべ人数)】

H24	H25	H26	H27	H28	H29
1293	980	928	1431	1268	821



【元気アップチャレンジの様子】 【元気アップチャレンジのポスター】

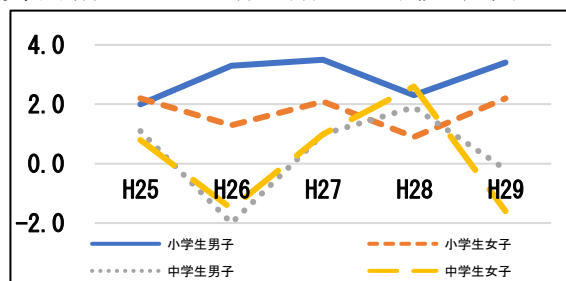
●工夫したこと

- 小・中学校共通の取組を行ったことで、各校が体力・運動能力の向上に向けた取組を徹底できた。また、取組に各校の実態に合った内容を設定できる独自性もあって、確実な体力・運動能力の向上につながった。
- 教育委員会の学校教育課と生涯学習推進課が連携し、各校の実態にあった教育委員会主催事業を実施することができた。

Check…取組成果の評価

以下のグラフのように、体力向上推進会議発足時から 2～5 年をかけて成果が如実に表れた。新体力テストの結果は、小学校は全体的に上昇傾向にあり、中学校は平成 26～28 年度まで上昇した。

【古賀市新体力テストの体力合計点の推移 (全国との差)】



Action…今後の課題

中学校においては、最高値にあった体力・運動能力が平成 29 年度に下降している。体力向上推進会議の内容の充実を図り、小中接続を強化する必要がある。

◎体力の向上の取組がもたらす波及効果

体力の向上をめざす取組が体育の授業だけでなく、行事や児童会・生徒会の活動などに広がり、意図的・計画的なカリキュラムデザインの実現につながっている。